

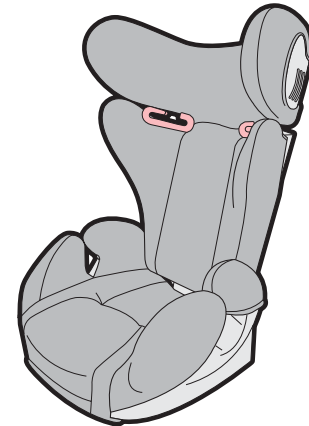
Aprica

チャイルドシート

マシュマロジュニア エアー 8サポート (EC)

取扱説明書

体重 **15kg以上36kg以下**のお子様用です。
本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可されたラップ/3点式安全ベルトを装備した車に限り使用できます。



このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**

ECE (欧州安全基準) R44.04認可
汎用型グループ II~III、15kg以上36kg未満。
座部横に貼られてある認証番号シールは、はがさないでください。

もくじ

ご使用前に	2
ご使用前の確認	2
各部の名称 <重要>	2
製品の特徴	3
チャイルドシートについて	3
保護者の方へのアドバイス	3
本書の表示について	3
ご使用の条件	4
シートベルトの種類について	5
チャイルドシートを取り付ける座席について	5
取り付けできない座席	6
ご使用上の注意	7
危険	7
警告	7
注意	8
禁止	8
緊急時のお子さまの降ろし方	9
ラベルの貼付位置及び内容について	9
各部の操作方法	10
背もたれの取り付け方	10
背もたれの高さ調節	11
グループII	12
本体の取り付け方	12
取り付け後の調節方法	15
取り付け後の確認	16
グループII・III	17
背もたれの取り外し方	17
本体の取り付け方	18
取り付け後の調節方法	19
取り付け後の確認	20
日常のお手入れ	21
縫製製品の取り外し方	21
シートカバーの洗濯	23
樹脂部分のお手入れ	23
保管する時は	23
廃棄する時は	23
保証について	24
保証期間とアフターサービス	24
アフターサービスについての連絡先	24
製品の仕様	24
困った時に	25
保証書	裏表紙

ご使用前に

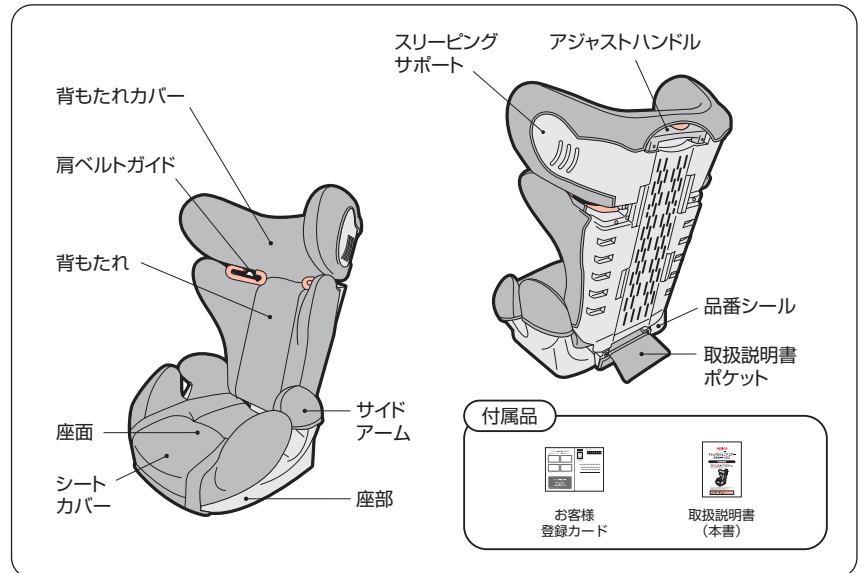
ご使用前の確認

- ・使用前には必ず各部を点検してください。
- ・本体に割れやき裂などが無いことを確認してください。
- ・シートカバーに破れやほつれが無いことを確認してください。
- ・万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社サービス員の点検・修理を受けてください。

△警告

- ・車のシートベルトに傷、損傷、き裂、焦げなどの損傷がある状態で使用しない。
衝突や急ブレーキなどによりお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

各部の名称



<重要>

- ・お客様登録カードは、当社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報を連絡する際に必要となります。お買い上げ日、またはお子さまが生まれた日より1カ月以内に投函してください。

製品の特徴

- ・軽量単装着
- ・通気性クッション
- ・フロントエアベンチレーション
- ・マシュマロクッション
- ・背もたれ高さ上下調節付き

チャイルドシートについて





- ・チャイルドシートは、お子さまの安全を守るための機能を備えておりますが、これらの機能は事故により、お子さまの受けるダメージを軽減することは可能ですが、事故から無傷で守ることはできません。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまを車に乗せる時は、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長時間のドライブでは、定期的に休憩を取って、お子さまの気分転換をはかってください。


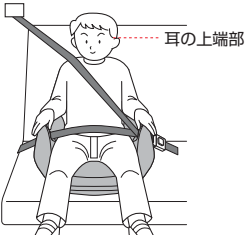
本書の表示について

- ・**危険**、**警告**、**注意**の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、**禁止**の表示と共に大変重要な内容です。必ず守ってください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
 禁止	絶対してはいけない内容です。

ご使用の条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
この条件を満たさないお子さまには事故時の傷害を軽減する効果がありません。
- ・お子さまの成長に合わせて、2通りの使い方があります。

グループII	体 重…15kg以上25kg以下
	<ul style="list-style-type: none">・腰が安定し、一人座りができること。・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。
グループII・III	体 重…15kg以上36kg以下
	<ul style="list-style-type: none">・腰が安定し、一人座りができること。・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）が車のシートの上端部、又はヘッドレストの上端部より下になること。

シートベルトの種類について

- ・3点式シートベルトの座席にのみ取り付けできます。
- ・車の取扱説明書をご覧ください、シートベルトの種類を確認してください。

△危険

- ・パッシブシートベルト（座席に座りドアを閉めると自動的にシートベルトを装着してくれる）の座席では使用しない。
- ・3点式シートベルトの上下取り付け部が共に巻き取り式のついた座席では、使用しない。
- ・シートベルトが、取り付けられていない座席では使用しない。

△注意

- ・プリテンショナー付きシートベルト（強い衝撃を前面から受けたときにシートベルトを引き込む）で強い衝撃を受け作動した後は、そのまま使用せずに車の購入店で点検を受けること。

チャイルドシートを取り付ける座席について

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

- ・お子さまの安全を最優先に考えチャイルドシートは、2列目以後の座席に取り付けることをお奨めします。
- ・やむを得ず助手席に取り付けた場合、お子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく、お子さまが運転装置にさわって事故につながるおそれがあります。

〈やむを得ず前席に取り付ける場合の注意〉

- ・座席をいちばん後ろ（後方）まで移動させます。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

- ・車の取扱説明書に準じてチャイルドシートを取り付けてください。
- ・車の取扱説明書に取り付け方の説明が記載されていない場合は、自動車メーカーのお客様相談窓口にお問い合わせください。

〈取り付けできない座席〉

	<ul style="list-style-type: none">・車のシートベルトの取り付け幅が、38cm未満の座席。
	<ul style="list-style-type: none">・車の進行方向に対して後ろ向き、及び横向きの座席。・前列の中央座席。（前列ベンチ座席仕様車）・取り付けたチャイルドシートが車の運転に支障を及ぼす座席。・特別な目的のために使用される車の座席。（スポーツ車、レース車）
	<ul style="list-style-type: none">・座面の奥行きが40cm以下の座席。
	<ul style="list-style-type: none">・チャイルドシートの底面が座面の一部にしか接しない座席。（市販座席に取り替えられた車、スポーツ車、レース車など）
	<ul style="list-style-type: none">・座席のフラット面が38cm未満の座席。（市販座席に取り替えられた車、スポーツ車、レース車など）
	<ul style="list-style-type: none">・バックル位置が座面より15cm以上高くなる座席。（チャイルドシートが落ち込む座席）・本取扱説明書の通りに取り付けできない座席。

ご使用上の注意

ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず遵守してください。

△危険

● **誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。**

- ・ 体重 15kg 以上～ 36kg 以下のお子さま以外に使用しない。
- ・ 背もたれの肩ベルトガイドにお車のシートベルトを通さない状態で使用しない。また、確実に固定できない座席では使用しない。
- ・ お子さまが正座したりひざを立てて座らせた状態で使用しない。
- ・ チャイルドシート使用時は、お子さまを一人で車内に残さない。

△警告

● **誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。**

- ・ いかなる場合にも、**フロントエアバッグ装備車の助手席**には本製品を取り付けしないでください。
- ・ お子さまの首や腹部など身体の弱い部分にシートベルトを掛けない。
- ・ チャイルドシートを直射日光にさらさない。(特に駐車時)
- ・ チャイルドシートに二人以上のお子さまを同時に座らせない。
- ・ 肩シートベルトや腰シートベルトがねじれたり緩んだ状態で使用しない。
- ・ 腰シートベルトは骨盤上以外の位置で装着しない。
(腰シートベルトは骨盤の低い位置で装着する。)
- ・ 車の運転中にチャイルドシートの操作やベルトの調節などを行わない。
- ・ チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座ぶとんなどを敷かない。
- ・ 乗降時に通路になる座席にチャイルドシートを取り付けない。(2 ドア、3 ドア車及び 1 ボックス車など)
- ・ 背もたれ部のみの使用など、本取扱説明書に記載されていない組み合わせでは使用しない。

△注意

● **誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。**

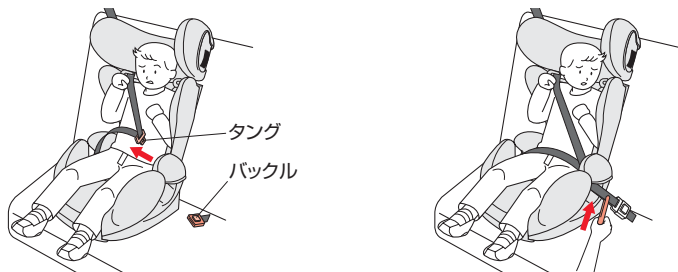
- ・ 車の座席が皮仕様の場合には、直接取り付けない。(チャイルドシートと座席の間に保護シート(薄いゴムマットなど)をご使用ください。)
- ・ 火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・ 通常の椅子として使用しない。
- ・ 小さなお子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・ 本品を車のシートの可動部やドアに挟まない。
- ・ 本品に重量物を載せない。
- ・ 固定されていない物を車内に置かない。
- ・ チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・ シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。
- ・ 本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・ 直射日光が当たったり雨が降る場所及び、高温や多湿の場所に保管しない。

⊘禁止

● **製品の取り扱いの禁止の行為です。絶対してはいけない内容です。**

- ・ 事故などで強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ・ 落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ・ 屋外に放置し雨などにさらした後に使用しない。
- ・ シートカバー内部のクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・ 本品を分解、改造、指定以外の部品と交換した状態で使用しない。
- ・ お子さまの上着やズボンなどに、おもちゃなどを入れた状態や、拘束性能に影響を与えるようなアクセサリを取り付けない。
- ・ 保護者などがいすなどとして使用しない。
- ・ お子さまの遊び道具として使用しない。
- ・ 取扱説明書及びチャイルドシートに記載されている以外の荷重保持接点を使用しない。

緊急時のお子さまの降ろし方



緊急の時はあわてずに…

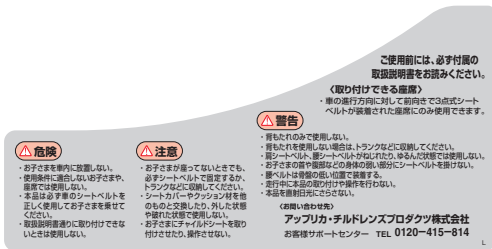
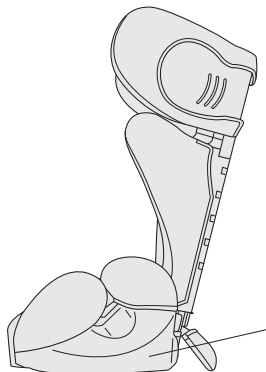
- ①車のシートベルトのバックルを外す。
- ②お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ③安全な場所へ避難する。

バックルからタングが抜けない時は…

- 車のシートベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

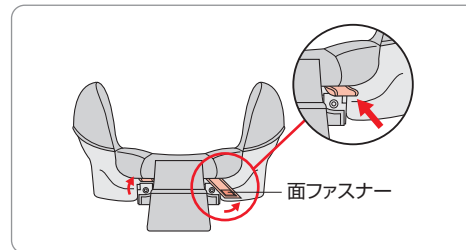
ラベルの貼付位置及び内容について

- ・チャイルドシートには、ご使用上の注意を記入したラベルを下記の箇所に貼り付けています。ラベルをお読みいただき、必ず守ってください。

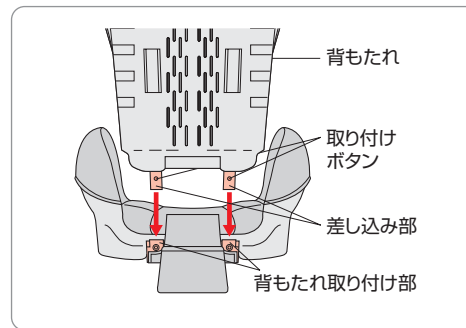


各部の操作方法

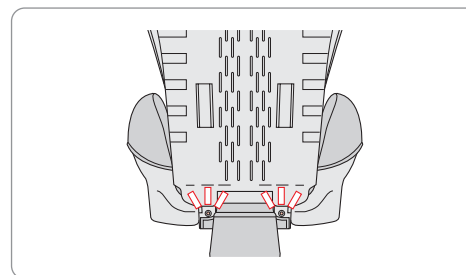
背もたれの取り付け方



- ①背もたれ取り付け部をカバーしてある縫製品の面ファスナーを外し、シートカバーと座部の間に入れ、収納します。



- ②背もたれの取り付けボタンを押しながら背もたれ取り付け部に差し込みます。

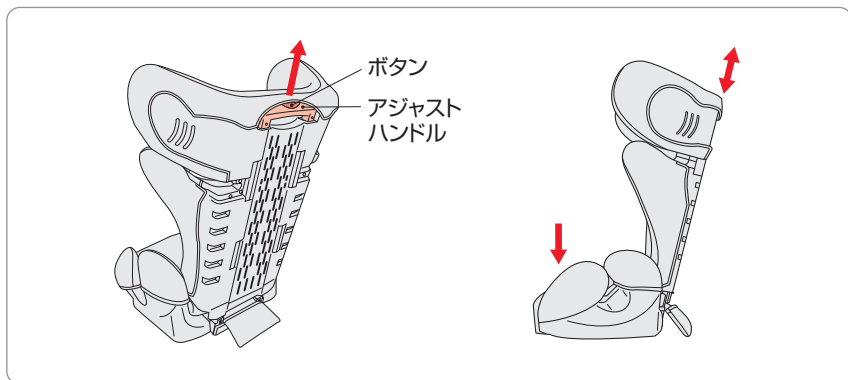


- ③背もたれが確実に取り付けられているか背もたれを引き、ロックが掛かっていることを確認します。

▲注意

- ・お子さまを乗せる前に背もたれが確実に取り付けられ、取り外しボタンが確実にとまっているかを確認してください。
 確実に取り付けられていないで使用いたしますと、衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

背もたれの高さ調節



- ・チャイルドシートの背もたれ後面のアジャストハンドルのボタンを押して、背もたれを上下させます。(上下しにくい場合は、片方の手で座面を押さえてください。)

△危険

- ・背もたれ付きでご使用になる場合は、背もたれの肩ベルトガイドがお子さまの肩よりも少し上の位置（2cm以内）になるように背もたれを調節すること。
- ・チャイルドシートを調節するたびに、調節した部分が正しい位置にロックされていることを確認する。
衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

△警告

- ・車のシートベルトは、ねじれ、緩みのないように着用させ、腰シートベルトは骨盤上に低く下げて着用させる。
衝突や急ブレーキなどにより強い圧迫などを受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

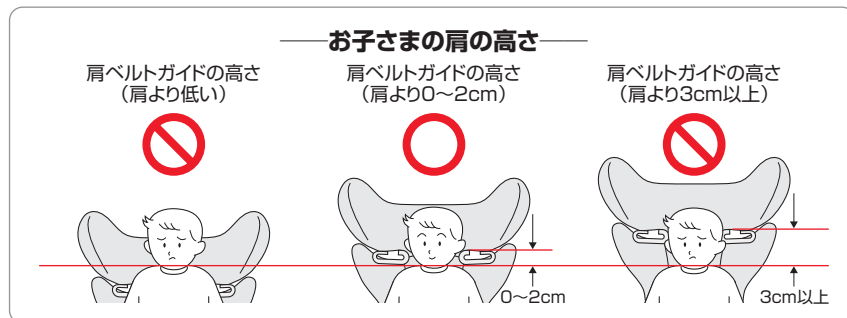
△注意

- ・お子さまをチャイルドシートに座らせた時、後頭部が背もたれの上端部よりでないこと。

グループⅡ

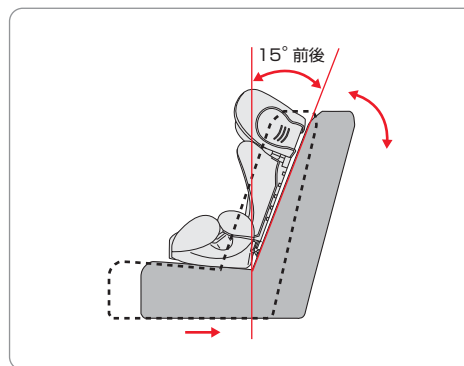
体重：15kg以上25kg以下

本体の取り付け方



- ① お子さまに合わせてチャイルドシートを調節します。
(背もたれの高さ・肩ベルトガイドの位置)
※肩ベルトガイド部がお子さまの肩の高さか、少し上の位置（2cm以内）になるように調節してください。

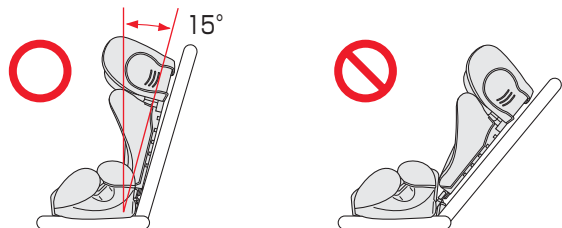
重要：チャイルドシートの肩ベルトガイド（背もたれ）の高さを選択する場合、お子さまが座られた時の肩の高さが決定的な決め手になります。



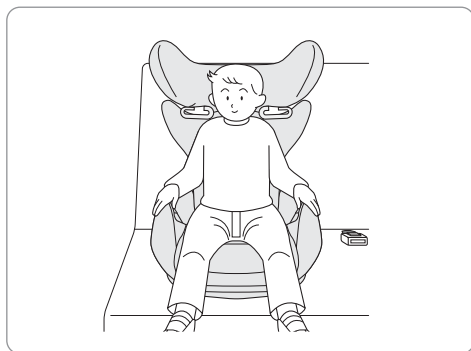
- ② 車の座席が前後にスライドできる場合は、座席を出るだけ後ろの位置にスライドさせます。座席がリクライニング付きの場合は、車の座席の背もたれを15°前後の傾きに調節します。
- ③ チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれの間隙が出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置きます。

△警告

- ・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。
衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。



参考：チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれの間隙ができるだけ小さくなるように、座席のヘッドレストを調整してください。



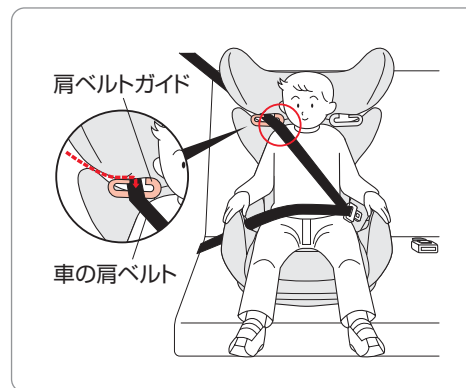
④チャイルドシートの上にお子さまを深く座らせませす。

△危険

- ・お子さまが正座やひざをたてた状態でチャイルドシートを使用しない。
衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたりフロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

△警告

- ・乗降時に通路になる座席にチャイルドシートを取り付けない。(2ドア、3ドア車及び1ボックス車など)
衝突などの緊急時に、車内の人が脱出できなくなり重大な事故につながるおそれがあります。

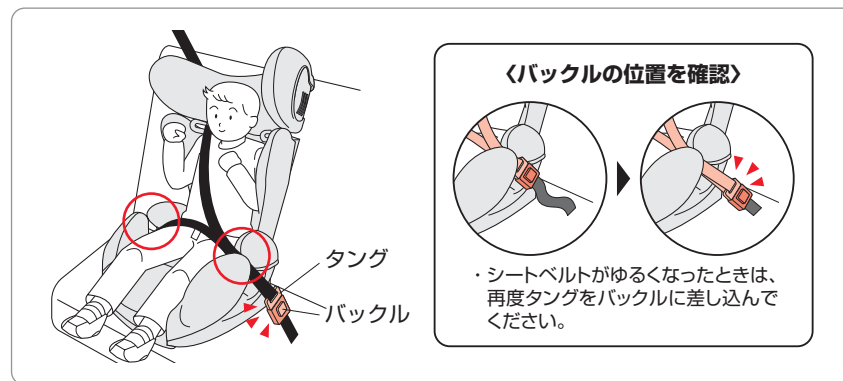


⑤車の肩シートベルトを背もたれの肩ベルトガイドに通します。

※お子さまの成長にともない、肩ベルトガイドの位置が低くなった時は背もたれの高さを調節してください。

△危険

- ・肩ベルトガイド部は、車のシートベルトがお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまの成長に伴い、肩ベルトガイド部が低くなったときには、背もたれの高さを調節してください。

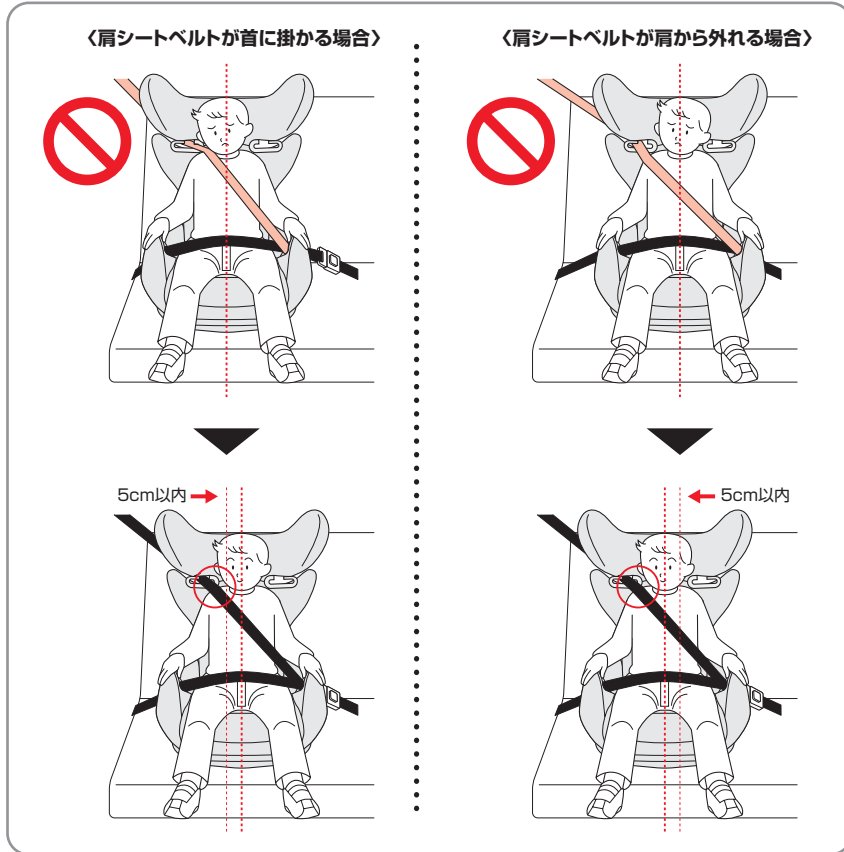


⑥車の腰シートベルトを左右両側のサイドアームの内側に通し、肩シートベルトをバックル側のみサイドアームの内側に通してタングをバックルに差し込みませす。

△注意

- ・シートベルトのタングは「カチッ」と音が鳴るまでバックルに差し込むこと。

取り付け後の調節方法

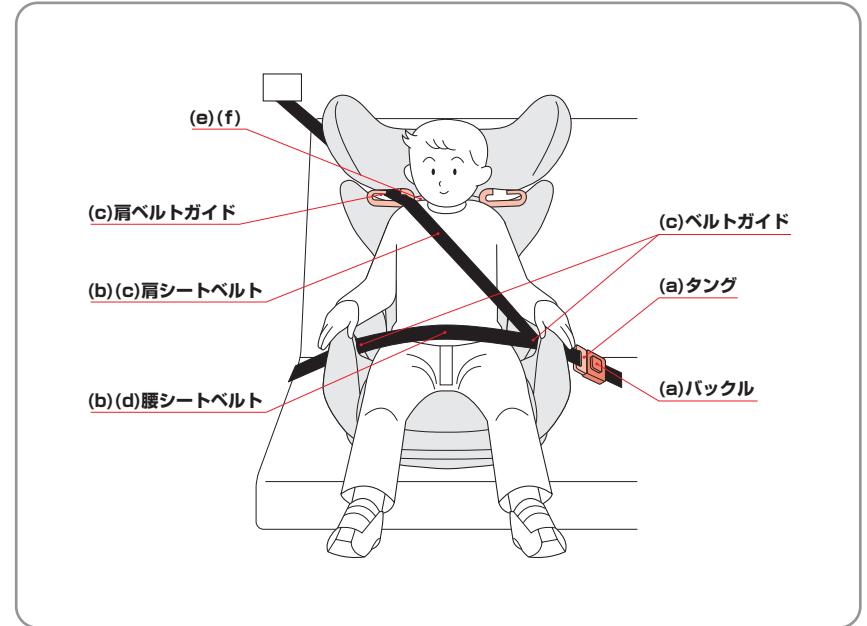


- ・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
- ・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。

⚠危険

- ・チャイルドシートが取扱説明書通りに取り付けできない座席では使用しない。
- ・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
- ・肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

取り付け後の確認



・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

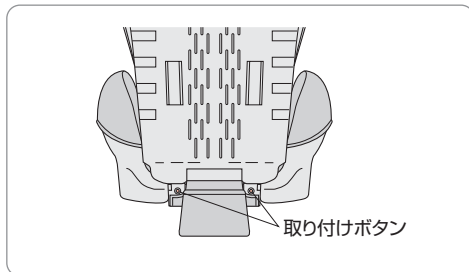
☑チェック項目

- (a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
 - (b)車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
 - (c)車の肩シートベルトが肩ベルトガイドを確実に通っていること。
 - (d)車の腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
 - (e)車の肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。
 - (f)車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指1～2本程度のスキ間があること。
- ・(a)～(f)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P12「本体の取り付け方」の手順で取り付けをやり直してください。
- ・取り付けをやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P24 参照)

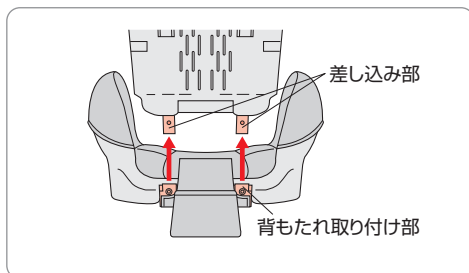
グループⅡ・Ⅲ

体重：15kg以上36kg以下

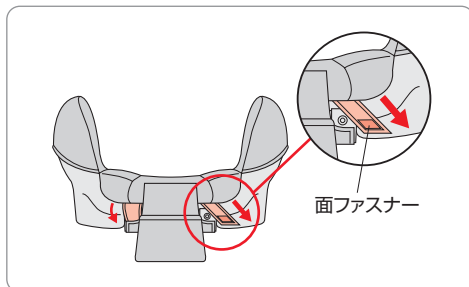
背もたれの取り外し方



- ① 座席の後方にある取り付けボタンを押します。



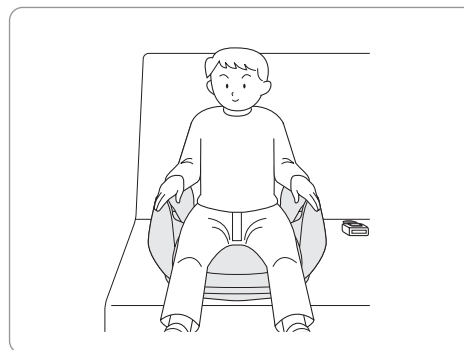
- ② 背もたれを上引き抜き、背もたれを取り外します。



- ③ シートカバーと座部の間から縫製品を引き出し、背もたれの取り付け部をカバーして面ファスナーでとめます。

・取り外した背もたれは、大切に保管してください。

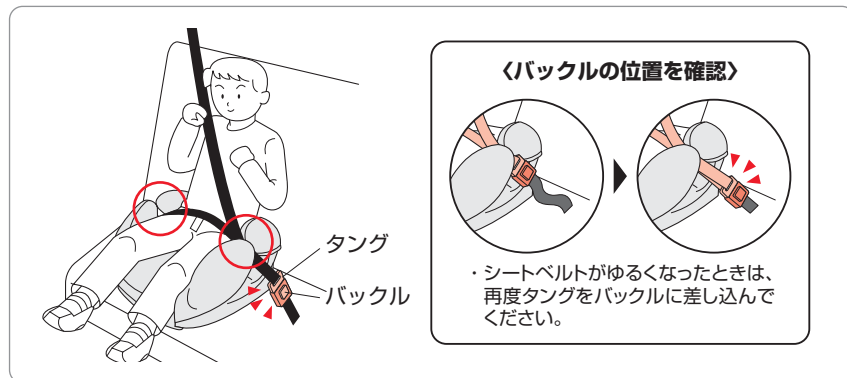
本体の取り付け方



- ① チャイルドシートの上にお子さまを深く座させます。

△危険

- ・お子さまが正座やひざをたてた状態でチャイルドシートを使用しない。
衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたりフロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

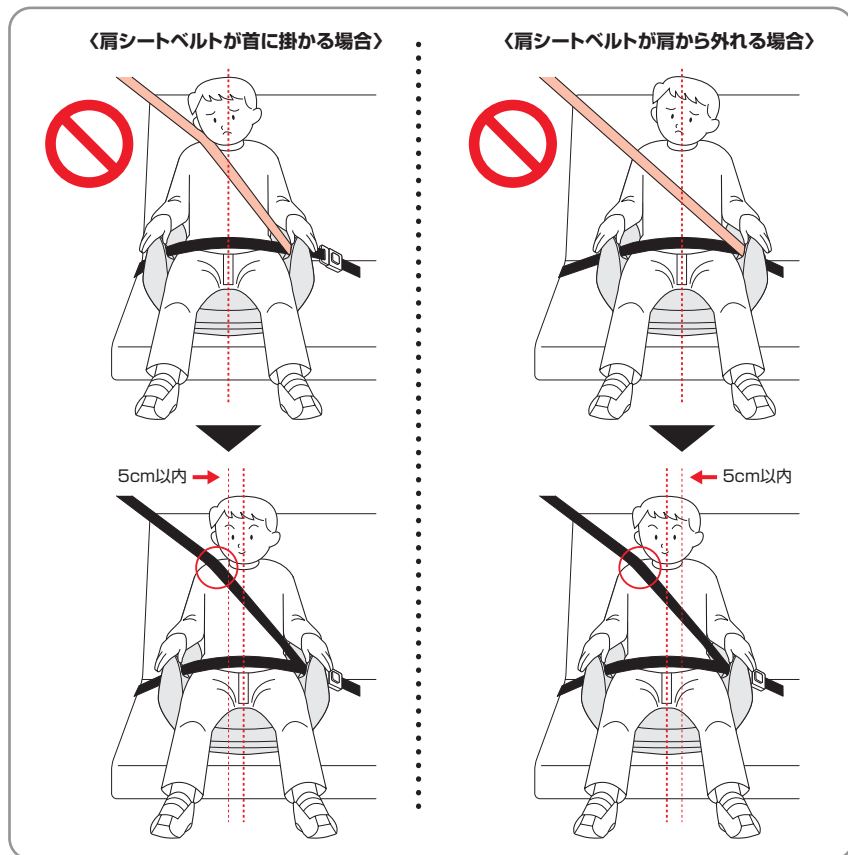


- ② 車の腰シートベルトを左右両側のサイドアームの内側に通し、肩シートベルトをバックル側のみサイドアームの内側に通してタングをバックルに差し込みます。

△注意

- ・シートベルトのタングは「カチッ」と音が鳴るまでバックルに差し込むこと。

取り付け後の調節方法

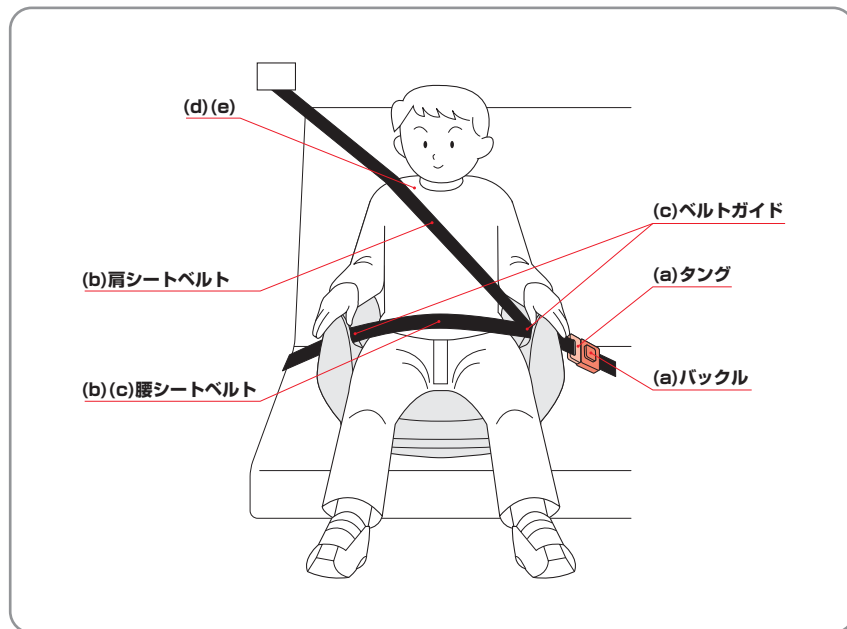


- ・ 肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
- ・ チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。

⚠危険

- ・ チャイルドシートが取扱説明書通りに取り付けできない座席では使用しない。
- ・ 車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
- ・ 肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

取り付け後の確認



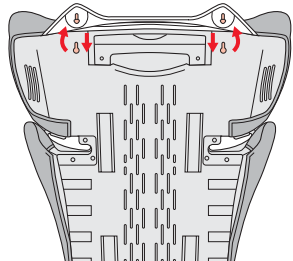
- ・ 取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑チェック項目

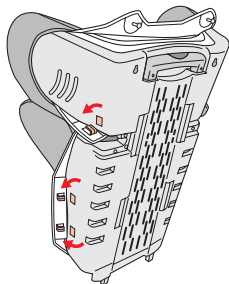
- (a) 車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
 - (b) 車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれないこと。
 - (c) 車の腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
 - (d) 車の肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。
 - (e) 車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指1～2本程度のスキ間があること。
- ・ (a)～(e)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P18「本体の取り付け方」の手順で取り付けをやり直してください。
 - ・ 取り付けをやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P24参照)

日常のお手入れ

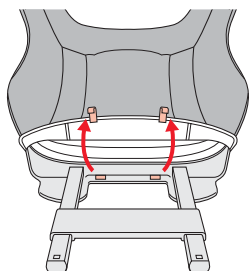
縫製品の取り外し方



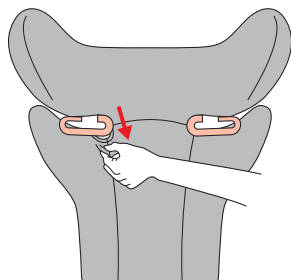
① 背もたれ上部のクリップ（2カ所）を外します。



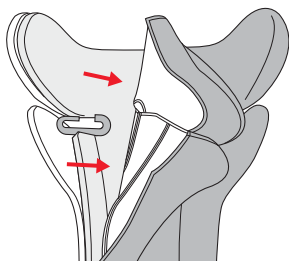
② 背もたれ側面のフック（3カ所）を外します。（左右）



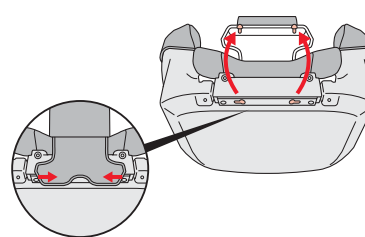
③ 背もたれ下部のフック（2カ所）を外します。



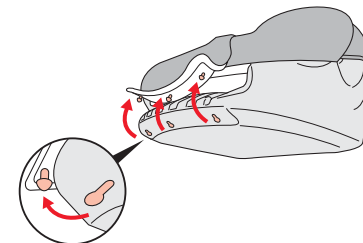
④ 肩ベルトガイド部のシートカバーを外します。（左右）



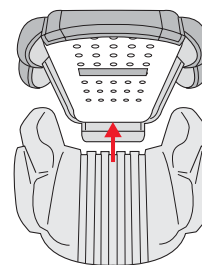
⑤ シートカバーを取り外します。



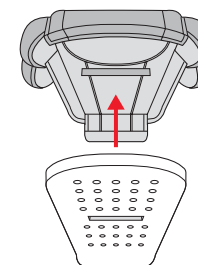
⑥ 後方のシートを真中に寄せ、クリップ（2カ所）を外します。



⑦ 前方のシートを引いて、クリップ（3カ所）を外します。



⑧ シートカバーを取り外します。



⑨ シートクッションからシートカバーを外します。

・シートカバーを取り付ける時は、逆の手順で取り付けてください。

△ 注意

- ・クリップ（芯材）などを外す時は充分ご注意ください。
手、指などがをさるおそれがあります。
- ・シートカバー内部のクッション材は、洗浄しない。
- ・内部のクッション材を取り外したり、他の物と交換したり、やぶれた状態で使用しない。
衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できないだけでなく、生命に関わる重大な危険になるおそれがあります。

保証について

保証期間とアフターサービス

- ・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。）修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1

アップリカ 奈良サービスセンター ☎(0743) 84-2050

製品の仕様

商 品 サ イ ズ	・ W：495mm × D：410～420mm × H：645～745mm
商 品 重 量	・ 3.3 kg
材 質	・ 背 も た れ：ポリプロピレン
	・ 本 体 台 座：ポリエチレン
	・ シートクッション：ポリウレタン
	・ 表 生 地：ポリエステル
	クッション材：ポリウレタンフォーム

シートカバーの洗濯

- ・シートカバーは30℃以下のぬるま湯でやさしく手洗いしてください。
洗濯機は使用しないでください。
- ・塩素系漂白剤は使用しないでください。
- ・洗濯後は、絞らずに干してください。
- ・ドライクリーニングはしないでください。
- ・陰干ししてください。
- ・アイロンがけをしないでください。

樹脂部分のお手入れ

〈ほこりなどを吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉

- ・中性洗剤を溶解した40℃前後のお湯にスポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分をスポンジで軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。

△注意

- ・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。

保管する時は

- ・本体をポリ袋などに入れ、直接日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

廃棄する時は

- ・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

困った時に

〈ご使用前に困った時〉

No	お気づきの点	対処方法
①	梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	販売店または当社お客様サポートセンターに連絡してください。 参照 P24「電話連絡先」
②	チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	販売店または当社お客様サポートセンターに連絡して確認してください。参照 P24「電話連絡先」 または、インターネットのアプリカホームページ「 http://www.Aprica.jp/ 」のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表にご使用になる車の車種が有ることを確認してください。
③	車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることができません。また、車両後部座席(3列シートの車両の場合は2列目以降の座席)への取付をお奨めします。 参照 P5「チャイルドシートを取り付ける座席について」
④	チャイルドシートをどのグループ(Ⅱ・Ⅲ)で使えば良いか判らない。	お子さまの体重・身長からお使いになるグループを決定してください。 参照 P4「ご使用の条件」

〈本体の取り付けで困った時〉

No	お気づきの点	対処方法
①	シートベルトの通し方が判らない。	取扱説明書及び台座の表示シールの内容に従って正しく通してください。 参照 P14「グループⅡ」、P18「グループⅡ・Ⅲ」
②	シートベルトの“ねじれ”が取れない。	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 参照 P14「グループⅡ」、P18「グループⅡ・Ⅲ」 シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 参照 P14「グループⅡ」、P18「グループⅡ・Ⅲ」
③	チャイルドシートを、取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	台座を持ち前後左右に動かした時に、移動量が2.5cm以内ならば問題ありません。2.5cm以上発生する場合は、車体への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 参照 P16「グループⅡ」、P20「グループⅡ・Ⅲ」 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性が有ります。販売店または当社お客様サポートセンターに確認してください。 参照 P24「電話連絡先」

〈お子さまの乗せ方で困った時〉

No	お気づきの点	対処方法
①	肩シートベルトがお子さまの首に掛かる	チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。 参照 P15「グループⅡ」、P19「グループⅡ・Ⅲ」
②	肩シートベルトがお子さまの肩から外れる	チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。 参照 P15「グループⅡ」、P19「グループⅡ・Ⅲ」
③	肩ベルトとお子さまの適切なフィット感が判らない。	車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指1～2本程度のスキ間があること。 参照 P16「グループⅡ」、P20「グループⅡ・Ⅲ」

〈中古品のご使用について〉

No	お気づきの点	対処方法
①	前の使用者の使用履歴が分からない。	使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
②	クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある。	ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

・解決しない場合は当社お客様サポートセンターに連絡してください。